

# フェミニズムの歴史と全体像を 捉えたい人のための入門書。



●教育こそが女性たちを解放すると訴えた17世紀のメアリー・アステルの時代から、フェイスブック社のCOOの著書『LEAN IN』や、TEDのスピーチが話題になったアディーチェ、さらに#MeToo運動までのフェミニズムの流れを扱い、その基礎的な知識が身につけられる。

●先住民族、ブラックフェミニズム、LGBTQなどマイノリティの問題、イスラム圏、アジア圏でのフェミニズムについても広く取り上げ、オールカラーの写真と図解満載でわかりやすく解説。特定の団体や思想に偏ることなく、客観的な記述が中心となっている。

B5変型判 352ページ 定価(本体4,200円+税) ISBN 978-4-385-16247-8

長い年月の間にフェミニズムがどんな形をとり、どのように発展したのか、その優れた点と弱点を知ることができたらどんなにかいいだろう。どんな闘いがすでに闘われ、何を勝ち得たのか、すでに闘った闘いをもう一度闘う必要があるのかを知ることができたなら。そして歴史の中の勇者たちを支えに、言論の軍を率い、過去も今も自分は一人ではないという確信を武器として、新たな闘いに乗り出すことができたなら。

本書には神秘家、作家、科学者、政治家、芸術家など、昔も今も新たな思想、行動、定義、ルール、優先事項、洞察を生み出してきた多くの人々が登場する。フェミニズムとは何か？その答えはここにある。

—— ルーシー・マンガン「序文」より

## 【著者紹介】

**ハンナ・マッケン** (編集顧問)

メルボルン大学講師。ジェンダー研究を専門とし、女性による自身のジェンダー表現の方法と、フェミニスト的文脈および幅広いLGBTQ+コミュニティにおけるその扱われ方を主要研究テーマとする。研究論文「女性性のクィア化——セクシュアリティ、フェミニズム、表象の政治」を2018年1月に発表。

## 【訳者紹介】

**最所篤子** (さいしょ・あつこ)

翻訳家。英リーズ大学大学院応用翻訳学専攻修士課程卒業。訳書に『月へ 人類史上最大の冒険』(三省堂)、ノリス『マイク』、モイーズ『ワン・プラス・ワン』(以上小学館)、ホーンビィ『ア・ロング・ウェイ・ダウン』(集英社)など。

**福井久美子** (ふくい・くみこ)

英グラスゴー大学大学院英文学専攻修士課程修了。訳書にケインほか『世にも危険な医療の世界史』(文藝春秋)、ロビンズ『5秒ルール』(東洋館出版社)、カプラン『ハーバードの自分を知る技術』(CCCメディアハウス)などがある。

# フェミニズム大図鑑



ハンナ・マッケン  
最所篤子・福井久美子 訳  
ほか著

